

- ① … 平成30年度第1回評議員会、第2回理事会を開催
優勝は昌平。準優勝は浦和南～平成30年度学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選～
- ② … ご挨拶 会長 鈴木 茂 平成30・31年度公益財団法人埼玉県サッカー協会理事・種別委員会
- ③ … 情報開示と協議を ～県フットサル連盟～ 会長 宮崎剛雄 理事長 早川祐司
- ④ … 平成30年度コース審判宿泊研修会報告 埼玉県サッカー協会審判委員会 育成部会部会長 木村康弘
- ⑤ … 大会記録●県内大会 1種・2種・3種・4種
- ⑥ … 大会記録●県内大会 4種・女子 大会記録●県外大会 1種
- ⑦ … 大会記録●県外大会 1種・3種・女子・シニア・フットサル
- ⑧ … 【シニア連盟より】 【女子連盟より】 インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

平成30年度第1回評議員会、第2回理事会を開催

6月17日、ラフレさいたまにおいて第1回評議員会を開催し、平成30年度、31年度の理事が選出されました。その後、新理事によって第2回理事会が開催され、出席した理事の互選によって、新会長に大宮アルディージャの代表取締役社長として活躍され

た鈴木茂氏が選出されました。これより、鈴木新会長の下、理事役員だけでなく、メンバーの皆さんと共に、更なる埼玉サッカーの発展のため進んでまいります。何卒よろしくご願ひ申し上げます。



平成30、31年度 理事の皆さん



評議員の皆さん

優勝は昌平。準優勝は浦和南 ～平成30年度学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選～

6月24日、NACK5 スタジアム大宮にて「平成30年度学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会埼玉県予選」決勝が開催されました。昌平と浦和南のカードとなり、結果は4対2で昌平が優勝しました。両チームとも8月7日からの本大会へ出場を決めており、昌平は3年連続3度目の出場、準優勝となった浦和南高校は9年ぶり12度目の出場を果たしました。



決勝 昌平 vs 浦和南



優勝 昌平高校



準優勝 浦和南高校

ご挨拶

会長 鈴木 茂



6月17日に、(公財)埼玉県サッカー協会の会長に就任した鈴木茂です。

NTT関東サッカー部、Jリーグクラブ経営を経験したとはいえ、レジェンドである先代の会長の皆様方と同等の仕事ができるか、非常に悩みましたが、ここまでサッカーに携わってきたおかげでいただいたお話ですので「しっかりやり切ろう」と思い受けさせてもらいました。

就任にあたり、まずは行動指針を作成しました。基本方針として掲げたのは「人に優しい事業運営」です。具体的には、「気配り、目配り、心配り」と「明るい笑顔と元気な声」を実践していただきたいと考えています。

「気配り、目配り、心配り」ですが、プレーヤーも指導者も審判も、そして観客も「人」です。IT化、技術革新が進む中、例えばパソコンの調子が悪ければ、ハードディスクを変えとかアプリケーションを変えればいいと、様々なことを安易にしがちです。さらにワールドカップでもVARが採用されるようになりました。しかしながら、サッカーをやっているのは「人」「人間」です。ですから、人をどう連携していくのが大事だと思うのです。

基本的にプレーヤーは指導者が近くにいる、判断するのはプレーヤー自身です。そのためにも指導者は選手に「気配り、目配り、心配り」をして欲しいのです。例えば、先日の日本代表のワールドカップの戦い方に、色々な意見があるでしょうが、きっと西野朗監督は「気配り、目配り、心配り」ができていますので、選手たちは納得してやっていたのでしょ。だから、私も各カテゴリーに対して、「気配り、目配り、心配り」を行っていきたくと思っています。同じように皆さんにも、心がけて欲しいのです。

「明るい笑顔と元気な声」は、私自身、アルディージャの社長時代、試合に勝っても負けてもムッとせず笑顔でいようと心がけていました。確かに負け試合の後で「ニヤついてんじゃないよ」と叱咤されたことがありました。ところが、あるサポーターの方から「(社長は)話をしてみたら、意外といい人じゃないか」と言われたこともあります。思うに、ムツとしている人には誰も話かけてくれないのではないのでしょうか。どんな状況でも、笑顔を絶やさないでいつづけることはいい影響があると思っています。

もちろん、各カテゴリーのチーム強化、アカデミー育成、カテゴリーの連携など課題はあります。ただそれらは各委員会、種別連盟の皆さんの考え方を聞かせていただくため、今後私も加わって行きたいと考えています。

まずは皆さんと明るく楽しく話し合えるようにしたいと考えています。そして埼玉県内のレベル向上に繋げていきたくと思っています。

私の好きな言葉は感謝と謙虚。この気持ちで皆さんといい関係を作っていきたいと考えておりますので、よろしく願い申し上げます。

●平成30・31年度 公益財団法人埼玉県サッカー協会 理事

会 長	鈴木 茂(新任)		
副 会 長	岡田 泉	林 昭雄(新任)	渡辺典子
専務理事	坂庭 泉		
理 事	原田 明(新任)	柴崎康之	貴田浩朗(新任)
	福田直史	友清 創(新任)	二瓶省三
	関 純	植松孝博	田中龍太郎
	谷地田昌史	東島雅之	秋谷 仁
	高橋勝行	宮崎幹夫	佐藤秀宣(新任)
	忍田行廣		
監 事	栗原靖治	船崎久壽	

●種別委員会

第1種委員会

委員 長	植松孝博		
委 員	藤井 武	佐藤正二	上原陽一
	谷山 洋	野口哲平	

第2種委員会

委員 長	田中龍太郎		
委 員	池田一義	三矢正則	二見 元
	安元利充	大森健司	斎藤 毅
	末 貴光	鈴木 豊	

第3種委員会

委員 長	都所亮介		
委 員	鈴木 勇	谷地田昌史	鳥井朋紀

第4種委員会

委員 長	東島雅之		
委 員	井部 衛	大山武士	野津育朗
	後藤英二	高橋哲男	河野雅明
	小泉孝宏	福澤貢盛	八谷直樹
	川見 弘		

女子委員会

委員 長	渡辺典子		
委 員	上代圭子	長谷川暁雄	松本真春
	美馬智子		

シニア委員会

委員 長	秋谷 仁		
委 員	坪谷武安	尾高泰平	榎村憲二
	矢部 匡		

フットサル委員会

委員 長	宮崎剛雄		
委 員	早川祐司	朝倉耕平	加藤紘一
	小野晋一郎	茂田友和	

※専門委員会は次号にて紹介します。

情報開示と協議を ～県フットサル連盟～

会長 宮崎 剛雄
理事長 早川 祐司

この四月から、埼玉県フットサル連盟が体制を新たに進むことになりました。「これまでの良さは継承しつつ、これからも多くの人にフットサルを楽しんでもらいたい」という宮崎新会長と早川新理事長に話を聞きました。

情報開示が不十分

—就任間もなくお忙しい中、ありがとうございます。いきなりですが、まずは現状をどう把握されていますか？

宮崎 リーグが4部まで拡大など県内におけるフットサル人口は増えているのですが、連盟が何をしているのかという、情報開示については不十分だと思っています。外から見ても、中にいても「こういうことをやっているんだ」「こういうことを目指しているんだ」とわかってもらうようしたいですね。



宮崎剛雄氏

早川 例えば、ホームページですが、トピックスとして挙げていないから「更新していないんじゃないか」と思われていますが、実は試合結果の更新が一番早いと思っています。昨年から全チーム、日本フットサル連盟が開発したFDS（フットサルデータベースシステム）を活用して、試合終了後すぐに更新しています。見ていただければわかりますが、スコアをクリックしてもらえれば、その試合の情報がすべて出てきます。—という、情報発信としては最先端を行っているのに、そういうシステムが導入されていることが、知られていないということですね。

宮崎 そういうことです。また昨年から連盟としてFacebookを始めました。試合中の写真など気楽にアップしてもらい、記録など公式に残さなければならない情報はホームページで管理と役割を整理しました。ただ、Facebookを始めたことは対外的にはお知らせしていなかったことです。

早川 やっているのに、やれていることが知られていないことを、今、少しずつ改善しているところです。

各カテゴリーの状況

—もったいないということですね。我々、SFAの広報でも知らなかったことですから。

さて、それでは各カテゴリーの状況をお聞かせください。

宮崎 まず社会人ですが、先ほども話に出しましたが、4部まで広がっています。ただ今年は3部プラス、実質4部であるオープンリーグという区分けにしました。目指すは各リーグの活性化です。来年に向けて、各リーグのチーム数を整理し、努力すれば上のカテゴリーに昇格でき、逆に努力を惜しむと残留も難しいというリーグにしたいと思っています。やる気、を促したいのです。

早川 現在、県から関東リーグの2部に2チーム（Iwatsuki Futsal Club/tzk、今年から烏天狗インペリオ）が参加しています。この2チームには頑張って1部へ昇格して欲しいのですが、県から一つでも多くのチームが関東に挑戦して欲しいと願っています。そのためにも県リーグの活性化は不可欠と考えているのです。

宮崎 次に女子ですが、昨年から今年にかけてチーム数が激減してしまいました。解散など諸事情が重なってしまい、そのため今年はまだリーグ戦は開幕していません。さいたま SAICOLO が日本女子リーグと関東女子リーグで活躍してくれている中、なんとか県リーグを存続させることが、連盟としての命題と考えています。

早川 少なくとも4チーム程度で始めたいのですが、もう少し時間がかかるようです。

宮崎 日本フットサル連盟から大学リーグの検討を求められています。現在、県内では東京国際大学が関東大学リーグに参加しています。連盟としては、どう大学リーグを作っていくかを検討したいと考えていますが、まずは実態の調査でしょうか。という

のも、キャンパスは県内でも本校が都内という大学が多く、また体育会ではなくサークルでの活動が多いようです。いずれにしても、学生から「やりたい」という声が上がって来なければいけないことですので、時間はかかると思っています。

早川 実際、都県での大学リーグは始まったばかりで、関東では東京と神奈川だけスタートしました。

宮崎 あとU-18、U-15のアンダー世代ですが、これからですね。ただ、U-18であれば、社会人のオープンリーグに参加できるようにしました。一つ大きな大会としては、U-12のバーモントカップ（JFA バーモントカップ全日本U-12フットサル選手権大会）があります。これは「フットサル委員会」事業です。というのは、U-12は連盟の規約に登録条項がありません。加盟するとなると登録費が必要になりますし、連盟としては大会を主催しなければならなくなります。正直、そこまで動ける役員数はいませんからね。

各種別と連携を

—そこでお聞きしたいのは、フットサル連盟とフットサル委員会の役割の違いです。

宮崎 わかりづらいですね（苦笑）。連盟は各リーグの運営を行い、委員会が全国大会の予選を運営するというとわかりやすいでしょうか。しかしながら、委員会のメンバーは少数ですから連盟にお願いするということになるわけです。でも、先ほど言った通り、連盟も自分たちのリーグ運営で精一杯です。

フットサル委員会から各世代のリーグ戦、カップ戦への協力を各種別委員会へ協力を要請、内部的な連携をお願いして行こうと思っています。バーモントカップは4種と、U-15ならば3種、大学ならば大学連盟……整備しなければいけませんね。そういう整備、さらにボトムアップを考えると、Fリーグのチームが望まれるところです。

早川 実際のところ、連盟と委員会の違いを理解している人は多くないと思います。メンバーには、こういうところの理解も求めています。もっと言えば、メンバーの意識改革ですね。例えば、残念ながら、自分たちが「埼玉のチーム」であるという帰属意識が薄いのが現状です。目の前の自分たちのリーグだけしか見えていないというか。勝ち上がって関東大会に出て、初めて「埼玉のチーム」という自覚が生まれるわけです。もっと意識を高く持って欲しいのです。



早川祐司氏

宮崎 その意識改革というのは、「競技」としてフットサルに向き合って欲しいということ。選手登録していることは、組織の一員として義務と責任が求められることを理解して欲しいのです。わかりやすく言うと、従来からの仲間意識、身内意識からの脱却です。そのためにも、しっかりと皆さんと協議して、決定していく組織にならないといけないと思っています。

早川 全チーム、全選手がフットサル発展のために寄与しようと前向きになって欲しいですね。連盟の主体は加盟チームなので、すから。

宮崎 普及の時代は終わりました。Fリーグの2部もできましたし、女子も日本リーグがセントラル方式からホーム&アウェイへと進化していこうとしています。埼玉のフットサルも今一步、前に進みたいと思っています。ぜひ、埼玉の「サッカー」の皆さんには見守って欲しいところです。

—情報開示、さらに発信をしながら、理解者を増やしていくことが急務のようですね。広報委員会としても協力していきます。よろしくお願いします。

平成30年度ユース審判宿泊研修会報告

埼玉県サッカー協会審判委員会 育成部会 部長 木村 康弘

振り返ることの大切さ

今年も、審判委員会強化部会の協力をいただき、ユース審判宿泊研修会を2日間にわたり、実施しました。実技・講義を含めて充実した内容で取り組むことが出来ました。

6月9日(土)、総体県予選会場である西武台高校に集合。今回は13名の参加となりました(宿泊を伴うユース審判は、10名、1日みの参加者が3名)。

まず、実技研修として、総体県予選1回戦の副審及び第4の審判をユース審判員が担当しました。会場のピッチチェックや打合せを行い、試合後には、インストラクターを交えて反省会を行い、細かい指導をしていただきました。普段はここまで行うことがないので、彼らにとっては、とても勉強になったのではないのでしょうか。

夜には、志木市のパーシモンホテルで講義を行いました。岡田委員長からの挨拶では、「評価されることだけでなく、振り返ることの大切さ」などといった内容のお話をいただきました。

その後、競技規則テストを行い、普段から競技規則を読み返すことの大切さを知ったようです(非常に難しかったようで、点数は……)。

講義では、「副審の役割」をテーマにグループディスカッションを行いました。副審の役割とその留意点を3グループで話し合い、競技規則を片手に色々相談しながら意見を出し合い発表してくれました。講師から「それぞれ出してくれた役割の留意点は？」とグループに投げかけられたことに頭を抱える姿もありましたが、試合であればとっさに判断しなくてはいけないので、貴重な経験になったのではないかと思います。

初日で気になった場面を取り出して考える場面では、次の日の大事な試合を重ね合わせて緊張の面持ちで意見を出し合うことができました。

講義の最後は、強化部長の佐野勲氏から「審判員のフィジカル」についてお話をいただき、翌日の実技につなげていくことになりました。途中、講義にも熱が入り、もっと時間があればというくらい充実した時間が過ごせたのかと思います。

審判員への興味を持ってほしい

翌6月10日(日)、前日と同じく会場として西武台高校に御協力いただきました。午前、佐野氏から「審判員のフィジカル」の指導を受け、実践しました。

ウォーミングアップを中心に行いましたが、普段何となく体をほぐしサイドステップやショートダッシュなどを行う程度だったのが、体のほぐし方から変化にあふれた動きなどとても参考になることも多かったと思います。

午後には、総体予選2回戦の副審及び第4の審判を担当しました。2回戦ということもあり、より一層緊張感をもって取り組んでくれました。副審においては、昨日の研修で確認したことなど細かいことにより神経をとがらせていたようです。

第4の審判では、交代の手続きやアディショナルタイムの確認や表示、負傷者が出たときの対応など、慌ただしく行っている姿が見られました。さらには、ベンチワークのチェックまで求められていたので、なかなか思い通りに行かなかったようです。反省会でも、多くのアドバイスをいただいたようです。

さて今回は、第2回の宿泊研修会でしたが、準備からいろいろ大変で十分な内容とはいかなかったかもしれませんが、我々指導者とユース審判にとって貴重な経験が得られたのではないのでしょうか。特にユース審判は、審判活動や会場、食事の場面などで仲間との交流を深める良い機会になったのではないのでしょうか。

この研修会がきっかけに、審判員への興味を深めてもらい(上級審判を目指す人、選手として審判の経験を活かす人)、また仲間とのつながりの場として有意義なものであったことを願います。

この活動にご理解いただき、派遣していただいた顧問の先生方、ご指導いただいたインストラクターの方々、総体予選会場でユース審判員の実技研修にご協力いただいた西武台高校の関係者の方々にも深くお礼申し上げます。

また、今年度もユース審判研修会を取材していただきました。高校サッカーは、選手だけでなく、ユース審判として活躍している姿が理解されるきっかけを作っていただけるのではないかと思います。ありがとうございました。今後も研修の場を設け、少しでもユース審判員に興味を持ってもらえるよう計画していきたいと思っています。



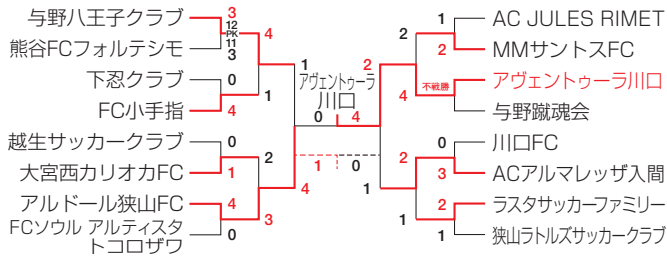
＜ユース審判＞ 13名					
小川	颯斗	3年	4級	朝霞	
永田	尚人	3年	3級	和光国際	
藤野	翼	3年	3級	武南	
上野	北斗	3年	4級	浦和東	
浅見	恭平	3年	4級	豊岡	
秋山	海太	2年	4級	成徳深谷	
高野	天音	2年	4級	市立浦和	
谷澤	寛之	2年	4級	市立浦和	
篠田	知希	2年	4級	和光国際	
太田	和希	2年	4級	浦和学院	
大森	滉次朗	2年	4級	春日部工業	
賀山	遥斗	2年	4級	慶応志木	
金井	裕紀	2年	3級	秀明英光	

大会記録 ● 県内大会

1種・社会人

第25回全国クラブチームサッカー選手権大会埼玉県大会

6月3日～7月8日 埼玉スタ第4他

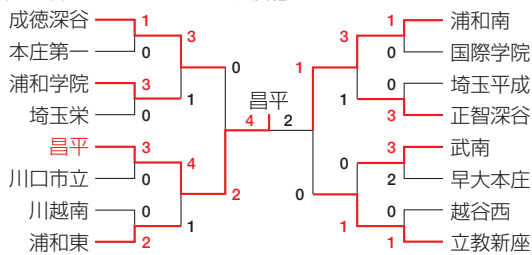


※アヴェントゥーラ川口は初優勝。関東大会へ出場する

2種・高体連

平成30年度 学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選

6月9日～24日 NACK5スタジアム大宮他



※優勝した昌平高校は3年連続3度目の出場。準優勝の浦和南高校は9年ぶり12度目の出場

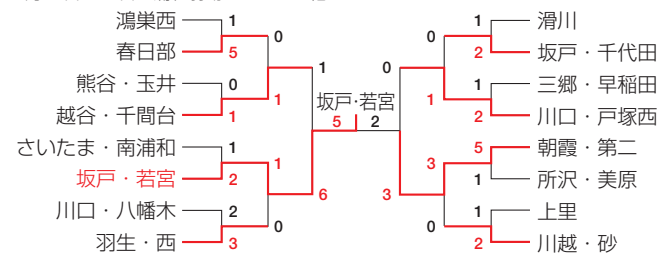


決勝 昌平 vs 浦和南

3種・中体連

平成30年度学校総合体育大会中学校サッカーの部

7月21日～29日 浦和駒場スタジアム他



※坂戸・若宮中学校と朝霞第二中学校は関東大会へ出場する



決勝 坂戸・若宮 vs 朝霞・第二



優勝 坂戸・若宮



準優勝 朝霞・第二

3種・クラブ

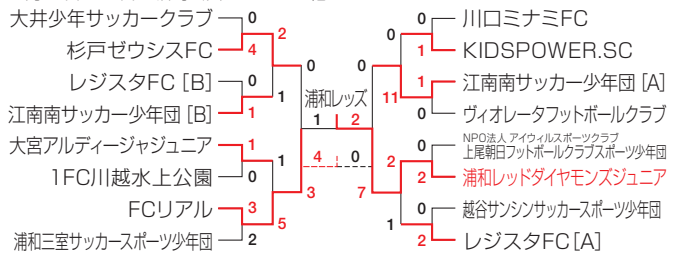
第33回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会埼玉県予選 ●代表決定トーナメント

第1代表決定戦	LAVIDA 1-2	JOGADOR
第2代表決定戦	1FC 4-0	GRAMADO
第3代表決定戦	三郷Jr 4-1	カリオカ
第4代表決定戦	ディプロマツ 2-0	成立ゼブラ
第5代表決定戦	HAN 1-0	FELEZA
第6代表決定戦	クラブ与野 0-0	フォルチ (4PK3)
第7代表決定戦	アスミ 0-1	ベレーニア
第8代表決定戦	コルージャ 0-2	アレグレ

4種・クラブ

第42回関東少年サッカー大会埼玉県大会

6月17日～24日 堀崎公園グラウンド他



※浦和レッドダイヤモンズジュニア、FCリアル、杉戸ゼウスFCは、8月24日から開催する「2018フジパンCUP 第42回関東少年サッカー大会 in 千葉」に出場する



決勝 レッズ vs FCリアル

3位決定戦 ゼウス vs 江南南[A]



優勝 浦和レッドダイヤモンズジュニア



準優勝 FCリアル

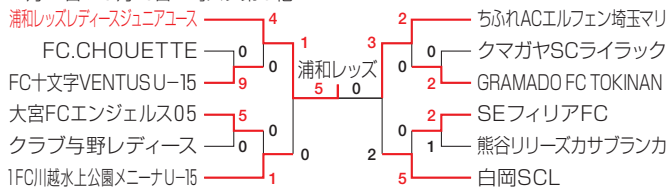


3位 杉戸ゼウスFC

女子

第23回埼玉県女子ユース(U-15)サッカー大会

4月21日～5月20日 埼玉第3他



●5位決定戦

1回戦 FC十文字VENTUS U-15 2-2 大宮FCエンジェルス05 (5PK4)

GRAMADO FC TOKINAN 1-0 SEフィリアFC

決定戦 FC十文字VENTUS U-15 1-1 GRAMADO FC TOKINAN (1PK4)

※優勝した浦和レッズレディースを含む、上位5チームが関東大会へ出場する

大会記録 ● 県外大会

1種

天皇杯JFA第98回全日本サッカー選手権大会

1回戦 5月27日

Y.S.C.C横浜 3-2 東京国際大学FC

2回戦 6月6日

大宮アルディージャ 1-0 AC長野パルセイロ

浦和レッズ 3-0 Y.S.C.C横浜

3回戦 7月11日

ベガルタ仙台 1-0 大宮アルディージャ

浦和レッズ 2-1 松本山雅FC



東京国際大学FC



1回戦 vs Y.S.C.C. 横浜

第54回全国社会人サッカー選手権大会関東予選

6月3日～17日 関東各所

1回戦 ACアルマレッザ入間 3-2 FC KOREA (延長)

VONDS市原Vert 2-1 大成シティFC坂戸 (延長)

TIU 3-1 FC CASA FORTUNA OYAMA

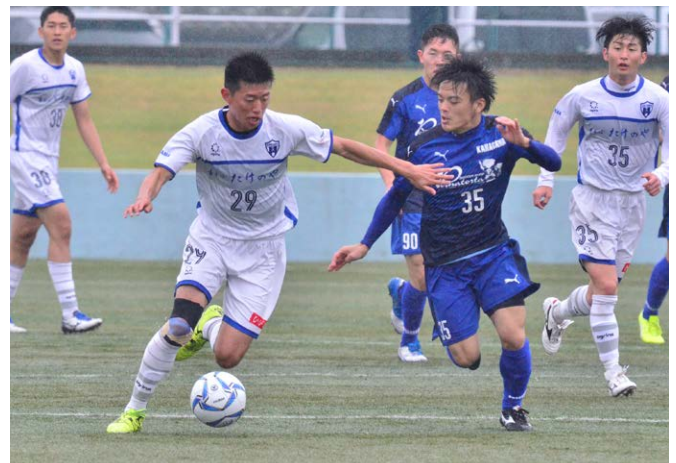
準決勝 Tonan前橋 1-1 東京国際大学FC (4PK5)

VONDS市原FC 3-1 ACアルマレッザ入間

神奈川県教員SC 2-1 さいたまSC

決定戦 プリオベッカ浦安 2-3 東京国際大学FC

※県内からは東京国際大学FCが本大会へ出場する



さいたまSC vs 神奈川教員SC

大学

「アミノバイタルR」カップ2018 第7回関東大学サッカートーナメント大会兼総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント関東予選」プレーオフ

6月9日、10日 城西大学グラウンド他

尚美学園大学	3-1	山梨学院大学
国際武道大学	2-1	埼玉工業大学
平成国際大学	4-1	常盤大学

※尚美学園大学と平成国際大学が関東大会に出場する

「アミノバイタルR」カップ2018 第7回関東大学サッカートーナメント大会

7月14日～22日 味の素フィールド西が丘他

1回戦	慶応義塾大学	1-0	東京国際大学
	平成国際大学	1-2	法政大学
	流通経済大学	2-1	尚美学園大学

※優勝は法政大学

2種・クラブ

第42回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

7月22日～8月1日 味の素フィールド西が丘ほか

●グループステージ

グループB	大宮アルディージャユース	3-0	エストレラ姫路FC U-18
	大宮アルディージャユース	0-0	清水エスパルスユース
	ベガルタ仙台ユース	1-2	大宮アルディージャユース
グループD	浦和レッズユース	1-2	アビスパ福岡 U-18
	浦和レッズユース	3-0	モンテディオ山形ユース
	浦和レッズユース	3-1	北海道コンサドーレ札幌U-18

※大宮アルディージャ、浦和レッズユースはノックアウトステージへ

●ノックアウトステージ

ラウンド16	大宮アルディージャユース	2-0	鹿島アントラーズユース
	浦和レッズ	3-1	ヴィッセル神戸U-18
準々決勝	大宮アルディージャユース	3-2	サガン鳥栖U-18
	浦和レッズ	1-1	清水エスパルスユース
		(3PK4)	
準決勝	大宮アルディージャユース	3-2	サンフレッチェ広島ユース
決勝	大宮アルディージャユース	0-2	清水エスパルスユース

3種・クラブ

第24回関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

6月16日～7月8日 河口湖サッカー場他

1回戦	Wings U-15	1-0	HAN FC
	大宮アルディージャ	1-4	クラブ・ドラゴンズ柏
	矢板SC	2-4	JOGADOR
	坂戸ディプロマツ	1-1	栃木SC
		(5PK3)	
	東松山ペレーニア	1-0	ウイングス
	ヴェルディ小山	1-2	三郷Jr Youth
	FORZA'02	1-1	サッカークラブ与野
		(5PK3)	
	FC府中	1-2	浦和レッズ
	FC杉野	1-3	FC川越水上公園
	クマガヤSC	5-2	C.A.アレグレ
	横浜FC鶴見	0-7	GRANDE FC
2回戦	三郷Jr Youth	2-2	GRANDE FC
		(5PK6)	
	クラブ・ドラゴンズ柏	2-2	東松山ペレーニア
		(8PK9)	
	浦和レッズ	3-1	1 FC川越水上公園
	三菱養和SC栄鴨	1-0	クマガヤSC
	JOGADOR	1-9	横浜Fマリノス
	坂戸ディプロマツ	0-1	横浜Fマリノス追浜
3回戦	柏レイソルU-15	3-0	浦和レッズ
	東松山ペレーニア	0-1	FORZA'02
	GRANDE FC	2-1	前橋FC
準々決勝	鹿島アントラーズ	0-1	GRANDE FC
準決勝	横浜F・マリノス	2-0	GRANDE FC
代表決定戦	浦和レッズ	1-0	横浜Fマリノス追浜
	鹿島アントラーズ	0-1	GRANDE FC

横浜Fマリノス追浜 2-0 東松山ペレーニア

Wings U-15 1-2 東松山ペレーニア

※優勝は横浜F・マリノス。県内からは3位のGRANDE FC、浦和レッズ、東松山ペレーニアが本大会へ出場する

女子

2018 プレナスなでしこリーグカップ 1部

3月31日～7月21日 味の素フィールド西が丘他

アルビレックス新潟	0-2	浦和レッズ
浦和レッズ	2-0	日体大FIELDS横浜
ジェフユナイテッド市原・千葉	2-2	浦和レッズ
日テレ・ベレーザ	2-1	浦和レッズ
浦和レッズ	3-3	アルビレックス新潟
日体大FIELDS横浜	2-2	浦和レッズ
浦和レッズ	1-0	ジェフユナイテッド市原・千葉
浦和レッズ	2-0	日テレ・ベレーザ

※優勝は日テレ・ベレーザ

2018 プレナスなでしこリーグカップ 2部

4月1日～7月21日 味の素フィールド西が丘他

ちふれASエルフェン埼玉	0-1	ニッパツ横浜FCシーガルズ
静岡産業大学磐田ボニータ	1-2	ちふれASエルフェン埼玉
オルカ鴨川FC	2-3	ちふれASエルフェン埼玉
ちふれASエルフェン埼玉	1-3	スフィアダ世田谷FC
ニッパツ横浜FCシーガルズ	1-0	ちふれASエルフェン埼玉
ちふれASエルフェン埼玉	1-2	オルカ鴨川FC
ちふれASエルフェン埼玉	0-0	静岡産業大学磐田ボニータ
スフィアダ世田谷FC	1-2	ちふれASエルフェン埼玉

※優勝は伊賀FCノゾ

第23回関東女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 兼 JFA第23回全日本女子U-15女子サッカー選手権大会関東予選

6月9日～17日 那須SP他

1回戦	十文字中学校	0-0	1 FC川越水上公園メニーナU-15
		(5PK6)	
	GRAMADO FC TOKINAN	0-3	白岡SCL
2回戦	浦和レッズ	3-1	FC HERHANA
	日テレ・メニーナ・セリアス	3-0	1 FC川越水上公園メニーナU-15
	白岡SCL	1-0	ちふれASエルフェン埼玉マリ
準々決勝	浦和レッズ	5-0	CANA CRAVO FC
	日テレ・メニーナ・セリアス	4-1	白岡SCL
準決勝	浦和レッズ	3-1	栃木SCLディース
決勝	浦和レッズ	1-3	日テレ・メニーナ・セリアス

※優勝は日テレ・メニーナ・セリアス。県内からは準優勝の浦和レッズディースジュニアユースと白岡 SCL が本大会へ出場する

シニア

2018年度JFA第6回全日本O-40サッカー大会関東地区予選会

6月23日、24日 押原公園天然芝グラウンド他

●予選リーグB組

Bondebola藤沢	0-2	FC西武台シニア
FC西武台シニア	2-1	Y-AJCK
FC西武台シニア	1-0	宇都宮FCファミリー

●1位・2位決定戦

T・ドリームス 3-0 FC西武台シニア

※優勝はT・ドリームス。県内からは準優勝のFC西武台シニアが本大会へ出場する

フットサル

JFA第5回全日本U-18フットサル選手権大会 関東大会

7月14日、15日 栃木県立県北体育館

1回戦 正智深谷高校 2-3 中央学院高校A

※優勝はフーガドールすみだファルコンズ。上位3チームが本大会へ出場する

第14回全日本大学フットサル大会 関東大会

7月16日 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館

1回戦 慶応義塾体育会サッカー部 5-1 東京国際大学体育会サッカー部

※優勝は順天堂大学フットサル部 GAZILjfc

【シニア連盟より】

●第7回スーパーシニア（0-70）サッカー大会開催

7月2日に埼玉スタジアムのメインと第2グラウンドにて、「第7回スーパーシニア（0-70）サッカー大会」が開催されました。県外から千葉（70・75）、茨城（70）、神奈川（70・75）、群馬（70）、東京（70・75）、栃木（70）、福島（70）、宮城（70・75）の計12チームに県内からは埼玉シニア70×2、埼玉シニア75×2の計4チームが参加し、リーグ戦形式でゲームを行いました。

鈴木新会長も駆けつけて、挨拶を行いました。また例年のない一足早い梅雨明けもあり暑さが気になりましたが、80歳を超えるプレーヤーが40名以上も参加され、皆さん、元気にプレーされていたのが印象的でした。



●NHKさいたま放送局×埼玉県「さいたまマッスル ～埼玉県民2020気運醸成計画～」～篠崎一男さんが出演

7月21日にイオンレイクタウンで「NHKさいたま放送局×埼玉県『さいたまマッスル ～埼玉県民2020気運醸成計画～』」が開催されました。これに合わせて、同日の「おはよう日本」（NHK総合）の中で、シニアでスポーツを続けている皆さんが紹介され、その中のおひとりとして、サッカーからは篠崎一男さんが取材されました。シニア連盟が全面的に協力しています。ぜひご覧ください。「華齢なるアスリート」



<http://www.nhk.or.jp/saitama/muscle/>

【女子連盟より】

●2018埼玉県女子GK講習会を開催

5月26日（参加50名）、6月23日（参加15名）、7月14日（参加23名）の3日間、「2018埼玉県女子GK講習会」を開催しました。U-18、U-15世代の延べ88名が参加し、各自に合わせたトレーニングが行われました。

講師は江口洋氏（公認B級コーチ、公認GK・C級コーチ、入間向陽高校）を中心に女子技術委員、GKプロジェクトコーチがサポートしました。3日間とも県立日高高校に隣接する天然芝グラウンドで開催し、安全面にも配慮しています。

すでに10年ほど続いている講習会ですが、GKに必要なボールフィーリングを養うためのウォーミングアップやGKの基本動作・基本技術を習得する「基本コース」とその基本コースから進んだ「発展コース」とステップがあり、かつ「基本コース」「発展コース」にレベル分けをし、少人数のグループでトレーニングを実施しています。

参加者からは「実践的なメニューが多く、役に立つトレーニングを学べた。チームに持ち帰って後輩に伝えたい」「普段、対戦相手として戦っているチームからも選手が集まっており、刺激を受けた。これからも頑張りあえる」という声が聞かれました。県内の女子サッカーの普及と強化のため、続けていきたいと思っています。



インフォメーション

●JFAより～記録的高温に対する熱中症対策について

記録的高温が続いております。つきましてはJFAが定めている熱中症ガイドラインを遵守いただくとともに、下記資料にある通り、対策をご検討いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【熱中症ガイドラインについて】

http://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_guideline.pdf

【熱中症ガイドラインについて＜F&Q＞】

http://www.jfa.jp/documents/pdf/other/heatstroke_faq.pdf

【サッカー活動中の落雷事故の防止策についての指針】

<http://www.jfa.jp/documents/pdf/other/rakurai.pdf>

第73回国民体育大会サッカー競技 関東ブロック大会 組み合わせ

成年男子

会場 (A):笠松運動公園陸上競技場
(B):ひたちなか市総合運動公園陸上競技場

県	8月18日	19日
群馬県	[1]	代表
栃木県	9:30 (A)	
山梨県	[2]	代表
埼玉県	9:30 (B)	
茨城県	[3]	代表
千葉県	11:30 (A)	
東京都	[4]	代表
神奈川県	11:30 (B)	

女子

会場 (C):水戸市サッカー・ラグビー場A
(D):水戸市サッカー・ラグビー場B

県	8月18日	19日
千葉県	[7]	代表
東京都	9:30 (C)	
栃木県	[8]	代表
茨城県	9:30 (D)	
群馬県	[9]	代表
埼玉県	11:30 (C)	
山梨県	[10]	代表
神奈川県	11:30 (D)	

少年男子

会場 (E):ひたちなか市総合運動公園スポーツ広場A
(F):ひたちなか市総合運動公園スポーツ広場B

第3節終了時のU-16リーグ結果

ブロック	1位	2位	3位	4位
Aブロック	埼玉	東京	神奈川	栃木
Bブロック	山梨	群馬	千葉	茨城

県	8月18日	19日
埼玉県	[13]	代表
群馬県	9:30 (F)	
千葉県	[14]	代表
栃木県	9:30 (E)	
山梨県	[15]	代表
東京都	11:30 (F)	
神奈川県	[16]	代表
茨城県	11:30 (E)	

編集後記

本年5月より広報委員長を仰せつかった藤田です。『SFA NEWS』は1997(平成9)年4月に創刊されました。日本がW杯に初出場した前年のことです。この創刊号はA3判の表裏1枚の新聞タイプでモノクロ印刷でした。号を重ねるにつれ、ページ数が増え、カラー印刷になり、A4判の冊子形式にリニューアル。20年以上の歴史を重ねる中で郵送からWEB掲載へと公開形式も変化しました。

私ごとですが、創刊号から広報委員会とともに編集・制作業務に携わって参りました。サッカー界の大きなうねりを身近に感じてきた経験の中で、埼玉県サッカーに関わるすべての方々を誇りに感じていただけるような広報活動を展開したい、と考えております。今後ともよろしくお願いいたします。(藤田)